

## 立花地区

### 9. 龍神宮

新天町中井樋にあります。明暦元年（1655）の『高庄唯太夫覚書』によれば、寛永6年（1629）に伊万里町下（現在の本町四丁目）から高湖崎（江湖ノ辻）まで堤防が築かれました。中井樋とは堤防の内外の水量を調節する水門ですから、この地に水門があったと推定され、龍神宮は堤防の守り神としてまつられたと思われます。正徳元年（1711）8月15日に建立されたと言われています。鳥居は「文政元年寅（1818）十一月吉祥日」の建立で表に龍神宮の扁額、裏に龍神宮を表す飾り扁額が掲げられています。雨乞い、海水の浸入による災害を防ぐ神様として信仰されました。現在は伊万里秋祭りに巡行する赤神輿、白神輿、荒神輿、団車のお旅所となっています。

